

海の生物を守るために

前にニュースで、ウミガメが海にあたごびみを食べてしまったというのを知った。今年もたくさんのおいしさを捨てられている。その原因は、いろいろな資源にたよってしまっただけだ。なぜこんなにも資源にたよるようになってしまったのだろうか。また、これ以上資源にたよらないように、防ぐことはできないのだろうか。

1950年と比べて、約200倍ものプラスチックごみが生産されている。

世界中の海には、毎年約800万トン、東京スカイツリー222基分ものプラスチックごみが流れ込んでいる。「edutowri目標12」の資料を見るとき、たくさん海の生物、その中でもプラスチックごみによつてウミガメの生命をおびやかしていることがわかる。そうならないためには、使い終わったペットボトルなどをスイーパーなどに行き、リサイクルをすれば、少しでも魚の命を助けられると思う。

いつか、マグロのすしも、ウナギのかばやきも食べられなくなる日があるかもしれない。


